

食料・農業・農村基本計画（令和2年3月）の目指す姿（農村の振興）

①しごと（所得と雇用機会の確保）、②くらし（農村に人が住み続けるための条件整備）、③活力（農村を支える新たな動きや活力の創出）の3つの柱に沿った施策を、関連府省、都道府県、市町村、民間事業者などが一丸となって推進し、活力ある農村を創っていくことで、国民全体の暮らしに資する。

所得と雇用機会の確保

農村に住み続けるための条件整備

農村を支える新たな動きや活力の創出

